

104-226

問題文

58歳男性。健康診断の結果が、体重72kg、血清クレアチニン値1.0mg/dL、BUN20mg/dL、空腹時血糖値122mg/dL、HbA1c(NGSP値)6.5%、BMI25.6であったため、かかりつけ医を受診した。かかりつけ医での検査の結果、耐糖能異常と診断され、食事療法と運動療法を開始した。

仕事上、夜勤があり、食生活が不規則で十分な改善効果が得られなかったため、以下の薬剤を処方され薬局を訪れた。患者は、この薬剤の服用は初めてで、服用方法や副作用について不安を抱えている様子であった。

(処方)

ボグリボース口腔内崩壊錠 0.2 mg 1回1錠 (1日3錠)
1日3回 朝昼夕食直前 14日分

問226

薬剤師がこの患者に行う服薬指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. おならが増えたり、下痢をしたりすることがありますが、症状が軽度の場合は心配せず続けて服用してください。
2. この薬で腎臓の働きが悪くなることがありますので、尿量が減少した場合はお知らせください。
3. この薬で低血糖症状が起きた時は、砂糖では改善効果が低いのでブドウ糖を摂取してください。
4. この薬を食直前に飲めなかった場合は、食間でも同様の効果がありますので、食後2時間を目安に飲んでください。
5. この薬は舌の下で溶かして口の中で吸収させる薬なので、水で飲み込まないでください。

問227

前問の服薬指導の根拠となる糖質の消化・吸収に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. マルトースは、グルコースよりも小腸からの吸収効率が高い。
2. マルターゼは、 α -グルコシダーゼである。
3. スクロースは、グルコースとフルクトースが $\alpha 1 \rightarrow 4$ 結合したものである。
4. 二糖類が消化されずに小腸管腔内に滞留すると、浸透圧性の下痢を起こしやすくなる。
5. ボグリボースは、ラクトースの分解を阻害する。

解答

問226 : 1, 3問227 : 2, 4

解説

問226

BUN、血清クレアチニン、空腹時血糖、HbA1c がどれも基準値上限ギリギリというおじさんです。処方されたボグリボースは、 α -GI です。

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが非常にまれですが注意すべき点として「肝炎」があります。「腎臓の働きが悪くなる」ことは特に知られていません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが食後時間が経ってしまうと、服用の意味がないため、食事中に思い出した場合は服用

し、時間が経っていたら、次の食直前に飲むよう指導するのが適切と考えられます。
よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

舌下錠ではありません。水なしでも飲めますが、水で飲んでもかまいません。よって、
選択肢 5 は誤りです。

以上より、問226 の正解は 1,3 です。

問227

選択肢 1 ですが

マルトースは二糖類です。より分解されている単糖類であるグルコースの方が、小腸からの吸収効率は高いと考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

スクロースは、グルコースとフルクトースが「 $\alpha 1 \rightarrow 2$ 結合」したものです。「 $\alpha 1 \rightarrow 4$ 結合」ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

ボグリボースはラクターゼ阻害能がかなり小さいです。そのため「ラクトースの分解を阻害する」という記述は正しいとはいえないと考えられます。ちなみに、ミグリトール（セイブル）はラクターゼも阻害します。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問227 の正解は 2,4 です。